

とっとり 県議会だより

平成30年6月定例会

No.025

Jun.
6月
議会

主な記事 Contents

代表質問	2p
一般質問	3~7p
委員会活動	8~9p
議決結果	10~11p
関西広域連合議会	12p
お知らせ	12p



日野町・明地峠からの雲海と大山南壁 (撮影：柄木孝志)

6月定例会の概要

6月定例会は6月14日、平井知事から総額77億8千万円余の平成30年度鳥取県一般会計補正予算(第1号)や職員の特務手当に関する条例の一部を改正する条例など8議案が提案されて開会した。

開会日の6月14日、島根原発3号機の新規制基準への適合性申請に関する全員協議会を開催し、中国電力(株)から説明を受け、質疑を行った。

本会議では、代表質問は会派自民党が、一般質問には24名の議員が登場。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開した。

会期中、知事から、人事委員会委員などの人事案件6議案が追加提案された。

審議の結果、14件の知事提出議案全てを原案どおり可決、同意。

議員提出議案については「地方財政の充実・強化を求める意見書」、「青少年健全育成基本法制定を求める意見書」の2議案を提案し、原案どおり可決した。

陳情については、青少年健全育成基本法制定を求める意見書の提出に係る陳情1件を採択としたほか、5件を趣旨採択、4件を不採択と決し、7月5日に22日間の会期を閉じた。

表紙の写真

大山開山1300年を記念して「大山の四季」の写真を掲載しています。

大山圏域をフィールドとして活躍のカメラマン柄木孝志さん撮影の大山です。

今回のテーマは「秋の大山」です。



代表質問

党派 会派自民党



選挙区 米子市
内田 隆嗣 議員

二〇四〇年人口減少下における我が国のあり方と鳥取県

問二〇四〇年を見据えた人口減少下における我が国のあり方と地方自治体の持続可能性を伺う。

答清家先生が取りまとめられた二〇四〇年の未来像についての調査結果だ。ここに示された様々な人口の問題、働くこと、介護や子育て、地域の産業の活力、そうしたことに私たちは向き合っていかなければならない。正直申し上げて今きれいな処方箋が書けるわけではないが、これを放置するわけにはならないのが本県の状況であり、既に少子高齢化が他地域よりも先行して動いてきて

いる。中山間地には限界集落も見られ、現実にも労働力不足がこの鳥取県にも襲ってきている。そういうことに一つ一つ我々自身で議会でも議論いただき、処方箋を我々なりに、現在できることをつくり上げてきたところだ。

問参議院議員選挙の合区の解消について伺う。

答根本的な民主主義の大切なユニットである都道府県を守るべきであるということについて今後とも国民的な議論を起こしていかなければならない。

問北朝鮮による日本人拉致問題の解決について伺う。

答日本政府は、正面から拉致問題を取り上げて北朝鮮との協議に入るべきではないかと思う。あらゆる手段を尽くしてこの際、拉致問題を解決する、これを政府を挙げて国際社会と協力してやっていただきたいと考えるところだ。

二〇四〇年人口減少下における我が県の抱える諸課題

問本県における将来推計人口の結果について伺う。

答将来推計人口の結果について、人口減少に若干ブレイクがかかっている、そういう推計になっており、市町村によつては大きく改善しているところもある。

現実にも、今回1.66に合計特殊出生率が上がった出生率の動向、また二、二七人に過去最高として記録された移住の状況、これが平成27年度までのベースで、その間でも上昇傾向が見られているので、これが反映されてきていると思われる。このような努力を続けていくと徐々に将来の見通しも変わってくる。移住定住対策や、若い方々の定住対策、Uターンの引き込み、出生率など子育て対策、このようなことを重点的に行う必要がある。

ただ、郡部はまだ減少傾向が大きく出ており、歯止めが若干かかっている町も出てきているが、傾向としては厳しさも続いている。出生関係、産業関係など様々な対策が求められていると思う。

問県内の公立・私立高校の将来のあり方について伺う。

答今後、教育委員会や私学協会等と話をしたり、PTAや関係者も交えて長期的な公私を通じた教育のあり方について検討する場も必要ではないかと思う。こうした問題意識を持った会議を開催し、問題の共有や、将来的な公私比率をどう考えていくのかということも含めて議論が必要だと考える。

問今後、生産年齢人口の急減という新たな局面を迎える我が県の経済社会の活力を維持、向上するため、高齢者が働きやすい環境を整えたり、子育て世代の働き方改革として短時間正社員制度を導入するなど、中小企業にとつてのインセンティブとなるような制度設計ができないか。

答今、社会保険労務士などの専門家が三回支援に回るといふ派遣制度を作った。しかし、これでは十分ではないという声があり、中長期的に委託するような形でできるような事業を、今提案している働き方改革の事業の中に入れていく。また、来年度に向けて、企業側の考えも聞いて、働き方改革のための専門家とのコンサルティングを拡充するやり方、中長期的に継続的な支援を受けられるようなやり方などを検討させていただきたい。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会



一般質問

6月定例会では、24人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

県内企業育成による本県経済の発展

問 本県経済の発展のために、製造業に限らず第三次産業も含め、地域経済を牽引する中核的な県内企業を育成すべきだと考えるが、知事の所見を伺う。

答 大切なのは地場の企業を育てることであり、経営革新制度を最近始めた。未来の経済を牽引する企業について、支援制度を組み、促進計画を作ってさらに応援しようとして今動き始めた。ただ、まだ十分でないと考えており、産業振興機構などに協力いただき、様々な面で誘致企業とのマッチングを図っていく。



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

手話の諸課題 空の駅、東部観光

問 ①全国ろうあ者体育大会は①手話通訳者の頸肩腕障害(※1)、派遣会合の選別は②日本でデフリンピック開催を②空の駅、鳥取県東部観光振興推進の体制は。

答 ①の心尽くしで感動を共有し合い、共生社会を作る機運が盛り上がる大会に①現場と話し合う②ろうあ連盟が2025年日本招致を特別決議。バックアップしたい②鳥取西道路開通等で東部観光が抜本から変わる必要。PT(※2)は統轄監をトップに、市町村や観光関係者も加え、有機的機動的な組織にしたい。



福田 俊史 議員

選挙区 八頭郡
会派 会派自民党

森林管理システム 県産材需要の創出

問 ①来年度から動き出す新たな森林管理システムは人材確保に大きな不安がある。市町村に混乱をもたらす可能性があるが対応策は②現在、整備検討中である県立美術館を県産材CLTを活用した建築物にしてみてもは。

答 ①現在、若桜では県職員が出向し現地で仕事をしているが広域的に対処する市町村を超えた人材確保もある。市町村と話し合い方向性を出していく②県産材やCLTの活用はあり得る。CLT活用を美術館に図れるよう教育委員会と協議していく。

※1 頸肩腕障害…仕事が原因で起こる肩や腕のこりや痛み、手指の痛みやしびれの症状
※2 PT…プロジェクトチームの略

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

検索

一般質問



福浜 隆宏

議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

- ① ICTで参画意識
- ② 子どもの自主性

問 ①道路不具合等の地域課題を市民がスマホで画像送信するとWEB地図で即座に見える化している千葉市事例を導入し、県民の参画意識を高めるは？②自主性を育むには遊びが一番。どうすればかつての環境と時間を子どもたちに返せるのか？コミュニティスクール設置を契機に、学校と地域で検討を。

答 ①市町村とシステム開発を行ってぜひ参考にしたい②(教育長)コミュニティスクールは学校運営を協議する場だが、議題に出来る可能性はある。



澤 紀男

議員

選挙区 米子市
会派 公明党

夜間中学シンポジウムの開催を

問 鳥取県教育審議会は夜間中学等調査研究部会を設置し、本県での方向性について明確にすることとしている。県民により広く認識してもらうためにも夜間中学についてのシンポジウムの開催を要望したが、教育長はどのような視点で取り組むのか、周知も含めて所見を伺う。

答 (教育長) 調査研究部会の中でも夜間中学そのものの認識度が低いとの意見もある。県民の方々への周知も含めてシンポジウムの開催を検討する。今後はニーズ調査も予定している。



長谷川 稔

議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

強制不妊手術問題と原発再稼働判断

問 ①強制不妊手術裁判の要点は、被害者を探し当て、被害を埋もれさせないこと。調査状況や支援施策について尋ねる②島根原発3号機の新規制基準適合申請に際し、立地自治体同様の安全協定改定に向けた状況は。

答 ①強制不妊手術の件数は23件と推定。うち21件は記録が存在。被害者の方に寄り添う手だてとして訴訟等に要する費用を支援する予算案を計上②県の安全協定に立地自治体と同様の実質的事前了解が認められるよう、改定を粘り強く求めていく。



藤井 一博

議員

選挙区 東伯郡
会派 会派自民党

県立美術館、三徳山世界遺産登録

問 ①県立美術館についてPFI(※)導入が検討されているが、地元事業者が参画できる余地はあるか②県立美術館の所管を知事部局に移すべきでは③三徳山世界遺産登録へ向けて県も更なる支援を④三徳山投入堂の選拝所について立地も含め検討すべき。

答 ①建設や運営の中で地元事業者が参画できるよう、事業者選定の際に加点要素とするなど考慮する②美術館の最大限の効用を引き出すという観点から、所管移転も有力な選択肢となる③(教育長)支援する④検討する。



広谷 直樹

議員

選挙区 岩美郡
会派 自由民主党

コメ政策の今後 ドクターヘリ運航

問 水田農業にとって半世紀ぶりの大きな政策転換の年である。農業経営への影響はどうか。

答 米だけの作付でなく収入構造を変えること等で、心配していたほど深刻な影響は出ていない。

問 5年間の米ビジョンの目標年度が今年度末である。来年度以降のビジョン策定の考えは。

答 知恵を寄せ合い、現在に即した米の新しい計画を策定する。

問 本県ドクターヘリの運航実績、医療的効果はいかがか。

答 患者搬送の時間短縮など、諸効果は積み上がっている。



錦織 陽子

議員

選挙区 米子市
会派 共産党

産廃、原発避難計画、砂利採取問題

問 ①日本水道協会が国に提出した水道水源地域への産廃処分場設置規制と当面新設不許可を求める要望書への見解②県漁協淀江支所は反対声明を出している③原発避難計画の実効性は④砂利採取埋め戻しに産廃混入。

答 ①廃棄物処理法等、法令に基づく基準を満たすか否かで判断②声明は県漁協や淀江支所の動きでないと県漁協幹部から聴取③万が一、避難が計画通りできない場合、自衛隊、警察、消防等の緊急輸送支援がある④異物混入あり文書指導し、撤去確認した。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会



一般質問



川部 洋

議員

選挙区 倉吉市
会派 希望(のぞみ)

美術館のデザインとPFI(※)の両立

問 美術館建設で採用する予定のPFI手法はライフサイクルコストを下げることが目的である。一方、美術館にとって建築デザインは重要な要素であるが、それはコストを引き上げる要因になる。相反する両者をどう両立させるつもりか？

答(教育長) 参加意向の事業者から、PFIの効果を維持しつつデザインにも配慮した提案に挑戦したいという声も聞いている。検討委員や参加意向業者の声を十分聞いて両者を両立できるように制度設計していきたい。



横山 隆義

議員

選挙区 東伯郡
会派 希望(のぞみ)

教員確保と郷土愛を育む教育を

問 ①教員の欠員による授業への支障や他の先生への過重負担増等、学校現場の状況はどうか。業務の見直し等魅力ある学校づくりを目指し、教員の確保を②地域愛を育て、定住し地域で役立つ人材育成教育の推進を。

答 ①(教育長)欠員はあるが授業への支障は出ていない。早急に補充するよう努力している。採用内定の時期や職場環境の改善等を検討し、教員の確保に努めたい②ふるさと教育を推進し、鳥取を愛する子どもたちを育てる取組みを実践していく。



興治 英夫

議員

選挙区 倉吉市
会派 会派民主

タクシー等助成と民泊農家修繕助成

問 ①市町村が行っている免許証自主返納者や移動手段のない高齢者等に対するタクシー、バス代助成を県も実施すべき②農家民泊での教育旅行の受け入れを増やすため、古民家等に限定されている修繕等の助成制度を一般農家にも広げるべきだ。

答 ①バス、タクシーなどの自由度のある助成制度を新年度に向けて関係者と協議し考えていく②助成対象が古民家だけでは狭いので、教育旅行を受け入れる農家民泊に対して助成できるよう要綱の見直しをする。



中島 規夫

議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

県教委文化財課と中学校運動部活動

問 ①県総合教育会議は文化財課を知事部局に移管する検討に入った。所見は②スポーツ庁は中学部活動について、生徒数減で単一校活動が困難なとき複数校合同で活動できる等のガイドラインを発表した。本県の対応は。

答 ①文化財行政と観光、地域振興等の一体的な実施で新しい価値が生まれる②環境整備には創生交付金等を活用できる。円滑な活動を願う。(教育長)関係者の意見を伺いながら年内までに方針を策定する。検討の途中途中で市町村へ情報提供しながら進める。



坂野経三郎

議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

動画活用観光PR 合区解消と岡崎邸

問 全世代が利用するYouTubeを活用した観光PR手法を確立することで、県民による鳥取県の魅力発信の気運を高めては。

答 鳥取県のクレジットをつけるなど、県と一体となった動画のサイト提供をしていきたい。

問 鳥取県は、かつて島根県に併合されていた。鳥取県再置に尽力したのが初代鳥取県議会議長岡崎平内。合区解消は、平成の鳥取県再置運動だ。岡崎邸保存活動に対する知事の所見は。

答 市の考え方を我々も応分の負担も含めて応援をしていく。



浜田 妙子

議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

セクハラへの備え 児童虐待対応ほか

問 ①世の中を大いに賑わせたセクハラは世界的にも追放機運が高まっている。県下の職場相談窓口100%設置を目指すべき②目黒区児童虐待死は他人事ではない。警察との連携体制は③総合療育センターはその名称から誤解を生じている。広報強化とワンストップ窓口体制構築を。

答 ①100%設置を呼びかけたい②虐待通告を全部警察に通報するなどやり方を緊急に検討している③HPのバージョンアップに努める。窓口対応は医師会等と十分協議・連携を深めたい。

※PFI…官と民がパートナーを組んで事業を行う新しい官民連携の形態。民間事業者の資金やノウハウを活用して公共施設の整備・運営を行う手法。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

検索

一般質問



藤縄 喜和

議員

選挙区 鳥取市
会派 会派自民党

二巡目国体考え方 台湾チャーター便

問 ①二巡目国体は島根県との協力開催との議論だったが、その後の検討状況を問う②台湾台中市との交流が活発化。その評価を問う。チャーター便を最終決定に。知事が訪台して台中市との姉妹提携を締結すべし。

答 ①二巡目最後の2023年の大トリがきれい。国体の意義を総括する意義深い大会に②最近台中を含め交流が深まった。台北・鳥取空港間で11月11日から12月5日に7回のインバウンドチャーターが決定。私も林台中市長と会い友好提携したい。



濱辺 義孝

議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

ひきこもり支援の 体制強化推進

問 ①地域における訪問型就労準備支援事業が2018年4月にスタートした。事業を活用し、ひきこもり支援策を強く推進すべきだ②ハートフルスペース(※)の昨年度利用者数が前年度の1.5倍と増えている。支援体制は十分か。今後の取り組みを問う。

答 ①全市町村全域でできるようPRして更なる体制強化に繋がっていく②(教育長)利用者の状況や利用実態等を勘案しながら、施設のあり方やスタッフの体制について検討を引き続き行っていく。



西川 憲雄

議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

農業試験場、林業 試験場の取り組み

問 ①農業試験場は売れる米の改良をするのと同時に、今以上に増える休耕田対策として関西に売れる野菜に取り組んでは②林業維持の為、育林、植林技術の伝承を。また、チェーンソーの技術大会の招致を考えてみては。

答 ①新品種開発した「鳥系93号」を品種登録中。新しい米に期待。白ネギ、アスパラと野菜系で生産を伸ばしている②コンテナ苗等の技術開発を伴う事で可能性が出てきた。人材育成の為にも、関係者と協力し、まずは西日本大会の招致に結びつけたい。



浜田 一哉

議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

民泊及び英語教育 の取組み

問 届出手続きが煩雑。また民泊の助成制度について、農山漁村交流型だけではなく、取組みに応じて柔軟に活用できないか。

答 書類の簡素化を図るよう関係部局で検討している。促進策を強化し柔軟に要綱を見直す。

問 受験のための英語になっている。会話に点数は不要では？

答 (教育長)点数ではなく習熟状況の評価することになると思う。市町村と協力し、英語教育支援員という非常勤職員を採用するなど、生きた英語に触れられる仕掛けを考えていきたい。



内田 博長

議員

選挙区 日野郡
会派 自由民主党

所有者不明土地へ の対応

問 ①所有者不明土地利用円滑化特別措置法のさらなる制度構築や罰則規定も必要ではないか②航空レーザー測量の成果を活用して地籍調査に取り入れることが必要ではないか。

答 ①自治体や所有者の不安払拭のため踏み込んだ制度構築や登記の義務化に近いものを求めていく。

②現在の測定密度で境界線を確認することは十分可能。市町村で合意形成して、レーザー測量を活用する検討がなされれば進捗率も上がる。



市谷 知子

議員

選挙区 鳥取市
会派 共産党

小児医療費、風力 発電、学童保育

問 ①就学前小児医療費無料化②消防全県一本化押付けるな③風力発電の地元意見は？住民合意のルールを④教員不足見込みと鳥大の教員養成⑤オスプレイが飛行。騒音測定器・監視カメラ設置⑥学童保育の現状を知事が見るべき⑦県住の保証人削除。

答 ①考えていないが他県無料化情報を市町村に提供②一本化ありきでない③青谷・気高2区長が中止要望。地元合意の手法を国に要望④(教育長)120名。鳥大に協力依頼⑤中国知事会で要望⑥市町村が確認を⑦削除する。

※ハートフルスペース…鳥取県教育委員会が設置した義務教育修了後の不登校(傾向)、ひきこもりの心配がある青少年を支援する教育支援センター

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会



一般質問



前田八壽彦 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

パートナー県政の今後のあり方

問 ①県民との協働の次なる一手として、企業との包括協定からのステップアップを図るべきでは②パートナー県政の第一は、市町村をまずパートナーとすべきだ。知事の所見を伺う。

答 ①包括協定を結んでいても場合によっては別の当事者に入っただけ個別の協定を結ぶこともあり得る。相談させていただきたい②襟を正し、市町村の負担の問題など相談して決めるよう徹底していく。市町村が一番の前線に立っておられることを肝に銘じて取り組んでいく。



森 雅幹 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

骨髄バンクでの骨髄移植の推進

問 ドナーは55才定年で、年間何万人も登録が抹消される。若い人への啓発が必要。骨髄移植は、ドナーの仕事の理由などで、登録患者の6割しか移植できていない。ドナーが仕事を休みやすくなる等の支援策が必要。

答 教育機関にも協力をいただいたり、市町村など一緒になって啓発が必要。関係者と相談して展開を強める。ドナーとして骨髄移植に協力をいただけるように、職場あるいはドナー本人への、一定の所得補償など事業化を新年度考えてみたい。



野坂 道明 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

官民連携の現状と課題について

問 ①水力発電のコンセッション事業者選定の際に地元業者の参画の評価項目を設けるべき②下水道の広域化・共同化に関し交付金要件になることから取り組みを加速すべき③西部総合事務所敷地の活用に関し横浜市の公有地活用の事例を参考にすべき。

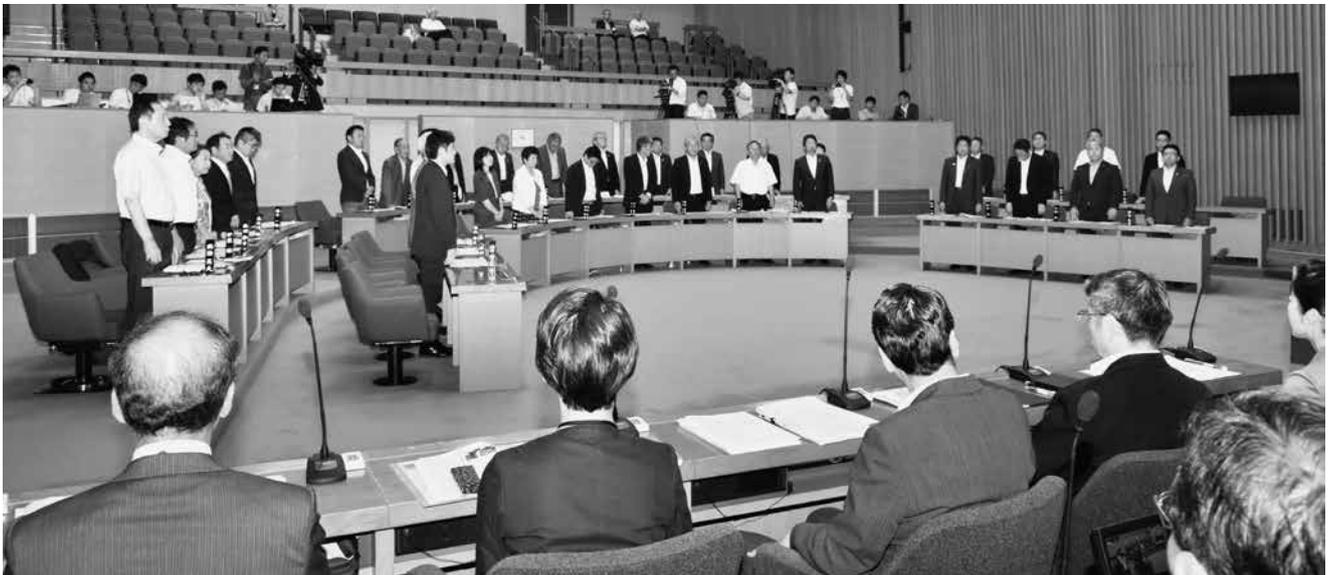
答 ①地元参入について調査の上議員の指摘通り対応したい②平成31年から5か年の次期指定管理期間の半ばには方向性を出したい③米子市とも協議し提案の定期借地権の活用も選択肢に入れ、可能性調査に向かいたい。

会派正式名称

- 【自由民主党】 鳥取県議会自由民主党
- 【会派自民党】 会派自民党
- 【会派民主】 会派民主
- 【公明党】 公明党鳥取県議会議員団
- 【希望】 鳥取県議会会派希望
- 【共産党】 日本共産党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部局長の答弁も含む）。教育長は知事の部局ではないため別に表記した。



鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続審査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

福祉生活病院常任委員会



6月定例会では、本委員会所管の「平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第1号）」など3件の議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された陳情が3件あり、慎重に審議を行った結果、「鳥取県受動喫煙防止

条例の制定」を求める陳情については「不採択」、「地方消費者行政に対する財政支援（交付金等）の継続・拡充を求める意見書採択」を求める陳情については「趣旨採択」と決定した。「青少年健全育成基本法制定を求める意見書の提出」を求める陳情については、「採択」と決定し、国に対する意見書案を委員会発議で提案することを可決した。

県外調査では、5月に三重県、静岡県、山梨県を訪問し、管理型最終処分場の運営状況、腎移植に関する体制整備及び取組状況、産前産後ケアセンターの運営状況及び富士山世界遺産センターの取組状況について調査し、帰鳥後、県施策への反映の参考としてもらうよう、とっとり版ネウボラ推進事業の充実等2件について県外調査に係る提言を行い、執行部と意見交換を行った。

地域振興県土警察常任委員会



6月定例会では、平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第1号）について慎重に審議を行った結果、妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

併せて、新規の陳情4件について慎重に審査を行った。このうち、「中国電力による島根原発3号機の適合性審査申請について」及び「島

根原発3号機の適合性審査申請に関して中国電力に事前了解権を求め、慎重な議論を行うことについて」は、議会として全員協議会を開催して中国電力からの説明を受けるなど、島根原発3号機の適合性審査申請に対しては慎重な検討・議論を進めているところであること、更に、安全協定について、立地自治体並みの文言に改定することは必要であるが、県ではこれまでも中国電力に対して度重ねて申し入れるとともに国に対しても要望していることから、趣旨採択と決定した。

また、5月には高知県、徳島県、愛媛県を訪問し、南海トラフ地震等に備えた県警察の取組、高知新港の整備状況、高知工科大学の運営状況と地域連携の取組、祖谷地区における観光誘客の取組、2017えひめ国体の開催成果、愛媛県の原子力防災対策について調査を実施した。

常任委員会活動

総務教育常任委員会



6月定例会では、本委員会所管の平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第1号）をはじめ4議案について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり全員一致で可決すべきものと決定した。

併せて、新規の陳情が1件あり、教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択について、慎重に審議を行った。その結果、国が教職員定数の充実のため、通級指導等

の基礎定数化を進めており、県も質の高い教育を推進するための定数改善や財政支援を国に継続的に要望していること、三位一体改革において、義務教育費国庫負担制度を堅持する方針の下、国庫負担割合の3分の1への引き下げとともに、国から地方への税源委譲がなされており、その割合を2分の1に復元することは実現困難と考えられることから、不採択と決定した。

県外調査では、5月に沖縄県を訪問し、地方創生の取組、ICT活用による教育環境改善の取組、県立高校における水産教育及び部活動の振興、国際化教育を中心とした特色ある教育、住民との協働による地域づくりなどについて調査を行ったが、特に、若者の県外流出を抑制するため、若者のふるさとの理解と関心を深め、郷土愛を育む取組を推進する重要性を改めて認識した。

農林水産商工常任委員会



6月定例会では、本委員会所管の「平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第1号）」など3件の議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案のとおり全員一致で可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された陳情が2件あり、慎重に審議を行った結果、「パワハラ・セクハラ

被害の防止と被害者救済策の確立を求める意見書の提出」を求める陳情については、すでに国や県において必要な対策や取組を進めているが、更なる防止に向けて、国及び県が連携しながら改善を行っていくことが必要であることから「趣旨採択」、「協同労働の協同組合法（仮称）」の制定に向け、国会での徹底した議論と速やかな制定を求める意見書の提出」を求める陳情については、現在、国会において超党派の議員連盟が設立され、すでに検討が進められていることから「趣旨採択」と決定した。

県外調査では、5月に鹿児島県、沖縄県、兵庫県を訪問し、ブリの海外輸出の取組、第12回和牛全共に向けた取組及び準備状況、24時間対応可能な沖縄国際物流ハブを活用した海外輸出の取組、マイクロナノバブルのイチゴ栽培への活用について調査した。

自由民主党				会派自民党				会派民主				公明党		希望	共産党	無所属	賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果												
浜崎晋一	浜田一哉	広谷直樹	前田八壽彦	松田正	安田優子	上村忠史	内田隆嗣	福田俊史	藤井一博	藤縄喜和	山口享	稲田寿久	伊藤保	興治英夫	坂野経三郎	浜田妙子					福岡裕隆	森雅幹	銀杏泰利	澤紀男	濱辺義孝	川部洋	横山隆義	市谷知子	錦織陽子	長谷川稔	福浜隆宏	
議案に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	2	33	可決
委員長報告に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	31	2	33	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	31	2	33	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	31	2	33	採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	31	2	33	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	31	2	33	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	30	3	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	31	2	33	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	24	9	33	不採択

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑩	鳥取県公安委員会委員の任命について	同意
⑪	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
⑫	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
⑬	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
⑭	鳥取県収用委員会予備委員の任命について	同意

平成30年6月定例会付議案等議決結果（賛否が分かれた議案及び否決された議案）

議案等番号	件名	自由民主党						
		内田博長	齊木正一	島谷龍司	中島規夫	西川憲雄	野坂道明	
①	平成30年度鳥取県一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	
③	平成30年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	
⑥	鳥取県営病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	
①	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	
②	青少年健全育成基本法制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	
議案等番号	件名	委員長報告						
陳情30年-6	鳥取県受動喫煙防止条例の制定について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情30年-7	パワハラ・セクハラ被害の防止と被害者救済策の確立を求める意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○
陳情30年-8	地方消費者行政に対する財政支援（交付金等）の継続・拡充を求める意見書採択について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○
陳情30年-9	青少年健全育成基本法制定を求める意見書の提出について	採択	○	○	○	○	○	○
陳情30年-10	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情30年-11	中国電力による島根原発3号機の適合性審査申請について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○
陳情30年-12	島根原発3号機の適合性審査申請に関して中国電力に事前了解権を求め、慎重な議論を行うことについて	趣旨採択	○	○	○	○	○	○
陳情30年-13	島根原発3号機の適合性審査申請に関し県民の意見聴取と熟議を求めることについて	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情30年-14	「協同労働の協同組合法（仮称）」の制定に向け、国会での徹底した議論と速やかな制定を求める意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○
陳情30年-15	中国電力による島根原発3号機の適合性審査申請に関して、安易・拙速に事前了解しないことについて	不採択	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案

賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

平成30年6月定例会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等番号	件名	議決結果
②	平成30年度鳥取県営電気事業会計補正予算（第1号）	可決
④	鳥取県税条例の一部を改正する条例	可決
⑤	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑦	財産を無償で貸し付けること（鳥取県学生寮用地）について	可決
⑧	国営土地改良事業の施行に伴う市町村負担金についての議決の一部変更について	可決
⑨	鳥取県人事委員会委員の選任について	同意

関西広域連合議会でも鳥取県選出議員が活動

関西広域連合では、平成22年12月の設立以来、「関西観光本部」による官民を挙げたツーリズムの推進、ドクターヘリの共同運行といった、個々の自治体では対応の難しい広域事務での連携が進められています。

また、今後、スポーツ等の世界的ビッグイベント、「ラグビーワールドカップ2019」、「東京2020オリンピック・パラリンピック」が予定され、これらを見据えた誘客促進や「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催支援、「2025国際博覧会」の大阪・関西への誘致など、官民の力を結集した戦略的な取組が推進されています。

関西広域連合議会には本県議会から、広谷議員（鳥取県議会自由民主党）、福田議員（会派自民党）が選出され「総務常任委員会」に所属する他、それぞれ「産業環境常任委員会（福田議員）」、「防災医療常任委員会（広谷議員）」に所属し「関西における鳥取県」の視点で、活発な議会活動を行っています。

【関西広域連合議会における質問事項】

広谷 直樹 議員



- ジオパークの推進について
- 広域インフラ整備について
- 観光施策について

福田 俊史 議員



- 関西広域連合のこれまでの効果・課題について
- 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に向けて
- 関西広域連合における農林水産振興の取組について

お知らせ

県議会を傍聴しませんか

県議会の審議は公開されており、どなたでも本会議、委員会などの会議を傍聴できます。

暮らしに直結する審議が、どのように進められているのか、直接見てみませんか。議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

- ※ 傍聴席に同時手話通訳が見られるディスプレイを設置しています。
- ※ 音声を聞き取りづらい方には、補聴イヤホンの貸出しもあります。お気軽にご利用ください。
- ※ 乳幼児を連れての傍聴も可能です。

託児サービスも引き続き行っています。
ご希望の方は5日前までに県議会事務局へお申し込みください。

9月定例会の日程案

期 日	日 程
9月18日(火)	本 会 議(開会・提案理由説明)
19日(水)	常任委員会
20日(木)	本 会 議(代表質問)
25日(火)	
27日(木)	
28日(金)	本 会 議(一般質問・質疑)
10月 2日(火)	
3日(水)	
5日(金)	
9日(火)	
11日(木)	常任委員会
12日(金)	特別委員会
15日(月)	本 会 議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。

県議会ホームページのご案内

鳥取県議会

- 県議会のしくみや議会日程、議員紹介など様々な最新の情報を掲載しています。
- 本会議、常任委員会、特別委員会、全員協議会は、全てインターネットで生中継と録画中継をしています。常任委員会、特別委員会、全員協議会は、資料もご覧いただけます。県議会ホームページの「[県議会インターネット放送局](#)」からご覧ください。
- 平成7年5月臨時会以降の県議会本会議の議事録をインターネットから閲覧できます。時期・質問者・答弁者・単語などいろいろな方法で検索ができます。ご利用ください。 [本会議議事録](#)

県議会議員の政務活動費および資産等の公開

「平成29年度政務活動費収支報告書」および「平成29年度資産等補充報告書等」の閲覧を希望される方は、県議会事務局総務課（議会棟本館2階）へおこしください。また、政務活動費の収支報告の状況や領収書等は、鳥取県議会ホームページでも公開しています。

鳥取県議会 政務活動費

<https://www.pref.tottori.lg.jp/267922.htm>

あとがき

広範囲に甚大な被害をもたらした7月豪雨災害。亡くなられた方々にお悔やみ申し上げますとともに被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

本県でも当面の復旧費として18億円余の専決予算が組まれましたが、中国地方全体が一日も早く復興できるよう県民のみなさまの各方面でのご支援を切にお願い申し上げます。
(広報委員会一同)